

新年あけまして おめでとうございます



旧年は
大変お世話になりました。
今年も
どうぞ宜しくお願いします。



今年、十二支の中でも唯一“伝説の動物”とされる、辰年です。

龍は、仏様がお生まれになる際、天から甘い雨を降らせたり、
仏様がお悟りになった際、7日間の雨を降らせたり、
仏教界には縁の深い動物といえます。



仏様の前世を物語にした、シャータカ物語にも龍のお話がありますので、
ここで簡単に、「古井戸のお話」をご紹介します。



昔々、ある商人がたくさん仲間を引き連れて、商売をするため長旅に出ました。

途中古い井戸を見つけ、喉も乾いていたので掘ることにしました。すると、古井戸からはザクザクと財宝が出てきて、商人達は大喜びしました。しばらくして、商人は「もう十分だから帰ろう」と促しましたが、仲間達は「もっと掘れば金銀が出るかもしれない」となお掘り続けました。

すると、古井戸の下に住んでいた竜王が、館を壊された怒りで、仲間達をすべて鼻息で打ち殺してしまいました。一人残された商人だけは、竜王によって財宝を持たせてもらい、丁重に家まで送り届けられました。

この物語の教訓は、「知足」(足るを知る) —

自分の身の丈に合った幸せを知ることが、人を豊かにし、「もっともっと」と願う欲心が、不幸を招くと教えてくれます。

危険を承知で、欲望のまま行動することが いかにも恐ろしいか、
私達は、昨年の東日本大震災
及び 原発問題で目の当たりにしてきました。



今年、その教訓を胸に、
自分の幸せを知ることができる そんな一年であればと願います。

大智寺だより

平成 24年 睦月
Vol.23

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話: 058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺 検索

<http://www.geocities.jp/daititoukai>

今月の当紙発行には、
山口染色様の
ご支援をいただきました
ありがとうございます

12月号発行部数
350部

ご愛読
ありがとうございます



家族の健康と平安を願う

大般若祈祷会

(だいはんにゃきとうえ)

1月15日(日) 10時~11時

11時~おうどんを振舞います♪



新年を迎えると、あちこちの禅寺で大般若祈祷会が行われます。
この法会は「大般若経」の威力で、すべての災厄を消し去ろうとする祈祷会。

たくさんの和尚様達が、全身全霊 大声を張り上げ
たくさんの般若札(はんにゃふだ)に魔除けの呪力を吹き込みます。

1月15日 大智寺では、20名程の和尚様をお寺にお招きし、
皆さまにお配りする般若札のため大般若祈祷会を行います。



最も威力の強い「大般若経」の力を、祈祷によって封じ込めた
禅寺イチオシのお札 「般若札(はんにゃふだ)」

このお札は、玄関の入口の少し高い場所に掲げ、
お経の力で災厄が家の中に入るのを防ぐ魔除けとなります。
「今年一年 ご家庭が健康で平安に暮らせますように」
和尚様達のそんな願いが、精一杯詰まったお札なのです。

三蔵法師がインドから命がけで持ち帰った
「大般若波羅蜜多経 600巻」

この大般若経は、禅寺において最も威力があるお経といわれており、
大般若祈祷では、全600巻を和尚様全員が 一斉に転読します。

ちなみに、この大般若経の 一番大切なエッセンスをまとめたのが、
いつも読んでいる「般若心経」なのです。



大智寺副住職晋山に当たって新調された
大般若箱(12箱) お目見え

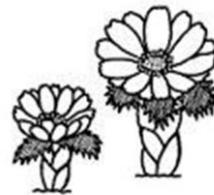
ありがたい大般若経を収める、大般若箱。
ひと箱に大般若経50巻が収められている、漆塗りの木箱です。

今まで使われてきた大般若箱は、かなり昔から使われてきたもので
取っ手の金具が壊れたり、木が朽ちたり、劣化が目立っていました。
今回、副住職晋山を機に12箱すべてを新調することができました。
本当にありがとうございました。



東日本大震災 花園会員見舞金について

大本山妙心寺では 檀信徒全国花園会をあげて
東日本大震災にて被災された花園会員方々への
御見舞金を募っております。



全国に約 3400 ケ寺ある妙心寺派寺院のネットワークを生かし、
同じ仏道を信仰する東日本の花園会員の方々へ、お見舞金を送ります



この大本山の呼びかけにより、
大智寺へも、たくさんのお見舞金が集まってきております。
12月末現在 30万6000円
136件の方々からお預かりさせていただいております
「お互いさま、おかげさま」
皆様の声が、東北の方々へ届きますように。

今月のひまわり

年末の突然の大雪で、大智寺ではお墓前の桜が根元から折れたり、ツバキがお辞儀姿で固まったりと大わらわ・・・皆様のお家は、いかがでしたか？枝の積雪を払ってやると、ガバツと勢いよく跳ね上がる木々を見てみると、「樹木も一緒にお寺を守っているんだよ」という優しい木の声が聞こえるようでした。

さて、今年は辰年。「龍」と聞くと、思い出す絵画があります。妙心寺の中で一際大きな伽藍を持つ法堂の「雲龍図」です。高い天井には、江戸時代の巨匠 狩野探幽が息を吹き込んだ巨大な龍が身体をくねらせています。荒々しい雲の中の龍を見上げて、お堂を一周すると、ふしぎふしぎ。龍はどんどん天に昇って行くように見え、ふと気づくと今度は、どんどん自分目かけて降りてくるようにも見え、幼い頃怖かった覚えがあります。

雨を操る龍は、
今年どんな天の恵み
をもたらしてくれる
のでしょうか。

自然の声を聞き
自然とともに生きる...

そんな北野の方々の
笑顔が、今年一年も
いっぱい見られますように。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪
里3号のおばあちゃん お腹にやさしい 淡雪かぶら蒸し

- ① かぶら1個の皮をむいて、すりおろし、ざるなどで水気を切る。
- ② 卵白をふわふわに泡立てて、ちょっと山芋もすりおろして混ぜる。
- ③ お正月に残ったお餅や野菜を、ひとくちサイズに小さく切って茶碗でもコップでも何でもいから、小さな耐熱容器に入れる。
- ④ ①と②をよく混ぜ合わせて、③の容器の上からかける。
- ⑤ あとは蒸し器で15分くらい蒸す。
- ⑥ その15分くらいの間に、甘じょっぱいたしを作っておく。
- ⑦ 蒸しがあがったら、上からたしをかけて、わさびや柚子を添えて 出来上がり。



かぶらは、胃の消化作用を助けてくれるので、お正月の後なんかちょうどええんやよ。
なんにも気取らずに、余り物を具に使ったって、うちの孫は喜んで食べとるよ。

大好評の豆乳のおかゆ、ありがとうございました

先月恒例の大坐禅会を行った際、豆乳のおかゆを振舞わせていただいたのですが、参加者の方々より、「とってもおいしかった！」とのおいしいお声をいただいております。

実はこの豆乳がゆは、某NPO 法人様より「皆さまが仏道を修行なさる手助けができれば」とご寄附いただいた、ありがたいおかゆです。



「いやあ～、あんなかわいい女の子に配ってもらったんだから、おかゆのおいしさも倍でしょう」という声も・・・
そうです！今年も女子大生ボランティアが大活躍でした。

お釈迦様が悟りを開かれる前、乳粥の布施をした村娘スジャータ
そのスジャータは、
このNPO 法人様のおいしい豆乳がゆと、
かわいらしい6人の女子大生ボランティアの手となって、
大坐禅会を盛り上げてくださいました。
本当にありがとうございました。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

1月25日(日) 一回500円
(朝8時～9時) (内300円は義援金)
要申込

昨年のお守り、お札
大切な故人の遺品
思い出の写真や手紙
お焚き上げ

今年の日程

1月15日(日)
(13時より行います)
※当日来れない方も、事前にお預かりします

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

「家を出ており、お墓も仏壇も、菩提寺も何にもありません」というご家庭も、最近は増えてきています。
でも、家族の遺骨をずっと抱え続けることもできない・・・

仏事のことが全然わからない、という方もお寺へご相談にいらっしゃいます。
まずは、お電話でお問い合わせの上、永代供養墓の見学にお越しください。



完全個別永代供養墓
1区画：25万円～
(墓石代金含む)

特色

- ◎宗教・宗派 不問
- ◎大智寺でのご供養内容
月命日のご供養
春秋彼岸のご供養
- ◎追加納骨 可能
夫婦、家族でご利用可
(追加料金 なし)